

1 「～って何？」

「～～言語学」:

理論言語学、社会言語学、心理言語学、人類言語学、神経言語学、計算言語学、etc.

「言語学」=理論言語学(?)

音声学 (phonetics)、音韻論 (phonology)、形態論 (morphology)、統語論 (syntax)、意味論 (semantics)、
語用論 (pragmatics)、etc.

「音声学って何?音韻論って何?」

2 現実の問題に当たる

「英語が聞き取れないんですけど、どうしたらいいでしょう?」

- なぜききとれないか? (why)
- どうしたらいいか? (how)

例えば、「慣れてないから」からでは、why への有益な答えにならない。

→ how に対して「慣れろ」としか言えない。

具体的に考える。まず、どこが聞き取れないか?(それぞれに応じて、なぜかを問う)

3 phoneme について

(1) water

明治時代の教科書は、「ワラ」とする。

英語:

[tʃ]	[t]	[tʰ]	[r]	[l]	[r]
------	-----	------	-----	-----	-----

日本語:

[tʃ]	[t]	[tʰ]	[r]	[l]	[r]
------	-----	------	-----	-----	-----

(2) a. stop [t]

b. top [tʰ]

c. water [r]

(3) a. た、て、と [t]

b. ち [tʃ]

c. つ [ts]

英語：

/l/: [l]

/r/: [r]

/t/: [t], [t^h], [ɾ], etc.

/tʃ/: [tʃ]

日本語：

/t/: [t], [tʃ], [ts]

/r/: [l], [r], [ɾ]

phoneme

cf. 訓令式ローマ字、ヘボン式ローマ字

石川：isikawa, ishikawa

(4) a. car

b. cars

(5) a. card

b. cards

(6) a. ず

b. づ

4 ちょっと準備編 …

4.1 閉鎖音 (stop) について

[pa] どうやって発音する？

(A) 唇を閉じる (ここでは無音)

(B) 唇を開く (破裂する音)

(C) 母音の部分 [a]

[ta] どうやって発音する？

(A) 舌が上の歯の近くにくっつく (ここでは無音)

(B) 舌が離れる (破裂する音)

(C) 母音の部分 [a]

[tap] どうやって発音する？¹

(A) 舌が上の歯の近くにくっつく (ここでは無音)

(B) 舌が離れる (破裂する音)

(C) 母音の部分 [a]

¹[t] と [t^h] の違いは、ここでは無視。

(D) 唇を閉じる（ここで無音）

(E) 唇を開く（破裂する音）

(A) や (D) では、口の外への空気の「道」が閉鎖される。

(E) は存在しない場合がある；存在しないなら、[p] は、閉鎖音 stop ではあるが、破裂音ではない（笑）。

4.2 有声音と無声音

[p] と [b] はどう違う？

唇を閉じる点では同じ。

唇を閉じたままで音を出せるかどうか？

[p] は完全に無音

[b] は声帯の振動音が聞こえる

[t] と [d] も同様（閉鎖の場所は同じ；声帯の振動が違う）

声帯が振動する方を voiced sound（有声音）、振動しない方を voiceless sound（無声音）と言う。

こだわるあなたのための注その1：

この区別は、ラフに言えば、「にごる音」、「にごらない音」に対応。しかし、正確な対応ではない？

こだわるあなたのための注その2：

voiced/voiceless の違いについてのここでの解説は、簡易版。

5 Perceived as ...

(7) a. 森さん

b. 守さん

c. 毛利さん

(7b-c) は、「も」の長さの違い。

/i/	/i:/
hit	heat
hid	heed

実は hidの方が heat よりも長い²

hit の母音は、heat の母音と、母音自体として違う。

「い」と「え」は、どう違う？

/i/	/i/
hit	heat
hid	heed

²牧野武彦 (p.c. 1997)

一方、

そもそも、t/dは stop なのだから、それ自体は聞こえないはず。

どうやって hit と hid を聞き分けてるのか？

→ 実は母音の長さ：

後ろが有声音 (voiced sound) なら母音が長くなり、後ろが無声音 (voiceless sound) なら短くなる。

hit : /i/ の母音で、短い。

heat : /i/ の母音で、短い。

hid : /i/ の母音で、長い。

heed : /i/ の母音で、長い。

つまり、母音の長さでもって、後ろの子音の有声・無声の区別を「復元」している。

英語：音質で聞き取る；長さは、後ろの子音の区別に使う。

では、

(8) a. heat

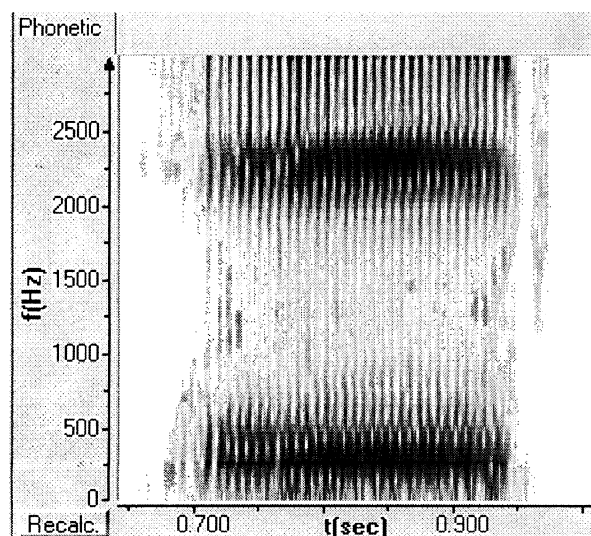
b. heap

これは？母音は同じ、でも語末の stop は聞こえないのでは？

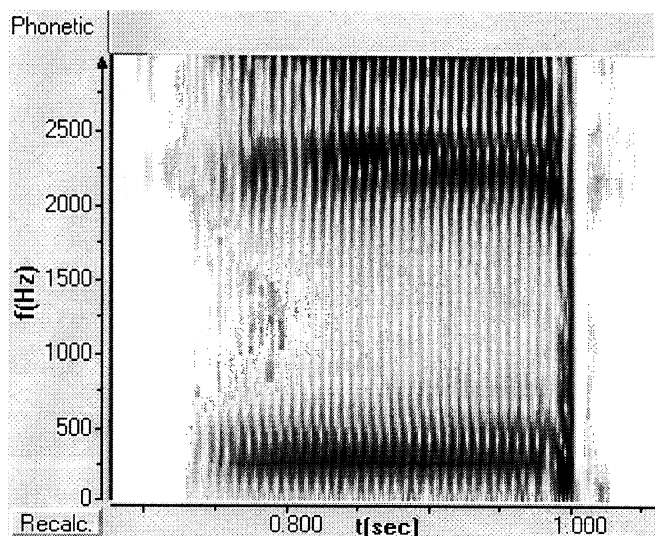
t: 唇は変化なし、舌は上がっていく

p: 舌は変化なし、唇は閉じて行く

i(ta)



i(pa)



母音の音質（変化）を、子音の違いとして聞き取る。

(9) a. Mexican [meksikən] (ジーニアス)

b. メキシカン

(10) a. cry [krai]

b. クライ

c. きらい

「メクシカン」でなく「メキシカン」に聞こえた
→ どうやって「く」と「き」を聞き分けているのか？

(11) a. くし /kusi/

b. きし /kisi/

前寄りの [k]、後ろ寄りの [k] ;
子音の違いを母音の違いとして聞き取る

cf. cake 「ケーキ」

6 まとめ

- 何と何が同じ「音」(音素 phoneme) とみなされるかが、言語ごとに違う。
- どの音を何として聞き取るかも、言語ごとに違う。

教訓：

universal alphabet は存在し得ない。

7 おまけ

英語と違って日本語には、長母音と短母音の区別がある。同様に、長子音と短子音の区別もある。

(12) a. カボ (kapo)

b. 闊歩 (kappo)

(13) a. 肩 (kata)

b. 勝った (katta)

(14) a. 人 (hito)

b. ヒット (hitto)

(15) a. 粉 (kona)

b. こんな (konna)

(16) a. 駒 (koma)

b. コンマ (komma)

stop の長子音は「っ」、n/m の長子音は「ん」、etc.